

2026 年度

編入学・転入学 入学試験要項



編入学・転入学 入学試験要項

各学部・学科の入学者受入れ方針（アドミSSION・ポリシー）	1
募集学部学科、定員および出願資格	5
事前審査	6
入試日程、選考方法等	7
出願方法	9
出願手続きに関する注意事項	9
志願票記入上の注意事項	10
編入学・転入学試験 志願票記入例	11
受験に関する注意事項	12
合格発表・Web（PC・スマートフォン）による合否案内	13
外国人留学生の入学手続きについて	13
学費等納付金	14
入学手続き締切日等	15
出願に係る個人情報の取扱い	16

入学者受入れ方針（アドミSSION・ポリシー）

本学は、建学の精神において、「未来につながる課題を自ら設定し、それを解決することができる先端人材」の育成を教育の目的としています。そのために、志望学部・学科の教育内容を理解した上で、学問の探究と実践、並びに技能の向上を目指し、グローバル社会に必要な市民教養を身につける意欲を持つ人を求めます。

1. 知識・技能

1. 高等学校等において履修する科目についての基礎的な知識や技能を持つ。

2. 思考力・判断力・表現力

1. 科学、文化、社会、自然、健康などの事象に関わる学問領域について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

1. 学問や技能に対する強い興味・関心があり、主体的に学ぶ強い意欲を持つ。

2. 知識や技能の修得のために、多様な人々と協働して取り組める。

3. 国際人としての教養を身につけ、英語を中心とした語学力の向上を目指す意欲を持つ。

各学部・学科の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

経済経営学部

教育目的

経済学・経営学を中心に法学分野の科目も配した実学重視の教育課程を通して、ビジネスパーソンとして必要な幅広い教養と高い専門性を兼ね備えた人材の育成を目的とする。

本学部の教育目的に即した人材を育成するために、本学部の教育目的を理解し、意欲と主体性をもって勉学に励むことができ、高等学校の教育課程で修得する基礎的な学力とそれを活用する力、他者とのコミュニケーション能力を備える人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・経済学と経営学を学ぶために必要な基礎的な知識・技能を有する。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・経済や社会について、また企業やショップの経営について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・経済学や経営学に強い興味・関心があり、主体的に学ぶ強い意欲を持つ。
 - ・知識の修得と実践的活用のために、多様な人々と協働して取り組める。
 - ・国際人としての教養を身につけ、英語を中心とした語学力の向上を目指す意欲を持つ。

【経済学科】

教育目的

経済学を中心に経営学・法学分野の科目も配し、ビジネスパーソンとして必要な幅広い教養と経済学の体系的な学修を通じて習得した広い視野をもって社会で活躍できる人材の育成を教育の目的とする。

本学科の教育目的に即した人材を育成するために、明確な目的意識と情熱を持ち、高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識や技能を有し、自分の考えを伝えられる表現力、さまざまな課題に積極的に挑戦しようとする意欲と姿勢、コミュニケーションを効果的に図ることによって相互理解に努めようとする態度を有する人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・高等学校で履修する国語、英語、地理歴史、数学などについての基礎的な知識を持つ。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・経済や社会について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・経済学に強い興味・関心があり、主体的に学ぶ強い意欲を持つ。
 - ・知識の修得と活用のために、多様な人々と協働して取り組める。

【経営学科】

教育目的

経営学を中心に経済学・法学分野の科目も配し、ビジネスパーソンとして必要な幅広い教養と実体験重視の学修を通じて、社会人としての自立できる人材の育成を目的とする。

本学科の教育目的に示した人材を育成するために、明確な目的意識と情熱を持ち、高等学校で履修した教科・科目について、基礎的な知識を有し、自分の考えを伝えられる日本語力、さまざまな課題に積極的に挑戦しようとする意欲、活動に積極的に取り組む姿勢、コミュニケーションを効果的に図り、相互理解に努めようとする態度を有する人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・高等学校で履修する国語、英語、地理歴史、数学などについての基礎的な知識を持つ。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・企業やショップの経営について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・経営学に強い興味・関心があり、主体的に学ぶ強い意欲を持つ。
 - ・知識の修得と実践のために、多様な人々と協働して取り組める。

人文学部

教育目的

心理学と歴史学を中心とした人文学の諸分野の知識を身につけ新時代を担う新しい人材の育成を目的とする。

本学部の教育目的に即した人材を育成するために、本学部の教育目的を理解し、意欲と主体性をもって勉学に励むことができ、高等学校の教育課程で修得する基礎的な学力とそれを活用する力、他者とのコミュニケーション能力を備える人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・心理学、歴史学、文学、民俗学を学ぶために必要な基礎的な知識・能力を有する。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・物事をじっくりと考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・心理学や歴史文化に強い興味・関心があり、主体的に学ぶ強い意欲を持つ。
 - ・実践的な授業に、多様な人々と協働して取り組める。
 - ・国際人としての教養を身につけ、英語を中心とした語学力の向上を目指す意欲を持つ。

【心理学科】

教育目的

心理学及び周辺分野の基礎的な知識と技能を十分に体得し、それを企業や心理臨床などの現場において柔軟に応用、問題解決できる能力を持った人材を育成する。

本学科の教育目的に示した人材を育成するために、明確な目的意識と情熱を持ち、高等学校で履修した教科・科目について、基礎的な知識を有し、自分の考えを伝えられる日本語力、さまざまな課題に積極的に挑戦しようとする意欲、活動に積極的に取り組む姿勢、コミュニケーションを効果的に図り、相互理解に努めようとする態度を有する人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・高等学校で履修する国語、英語、地理歴史、数学などについての基礎的な知識を持つ。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・人間の心理・行動・コミュニケーションについて考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・心理学に強い興味・関心があり、未知のことを主体的に探究する強い意欲を持つ。
 - ・心理学実験や発表などを、多様な人々と協働して取り組める。

【歴史文化学科】

教育目的

歴史学及び周辺分野の基礎的な知識と調査研究技能を十分に体得し、それを実社会において問題解決に活用できる人材を育成する。

本学科の教育目的に示した人材を育成するために、明確な目的意識と情熱を持ち、高等学校で履修した教科・科目について、基礎的な知識を有し、自分の考えを伝えられる日本語力、さまざまな課題に積極的に挑戦しようとする意欲、活動に積極的に取り組む姿勢、コミュニケーションを効果的に図り、相互理解に努めようとする態度を有する人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・高等学校で履修する国語、英語、地理歴史などについての基礎的な知識を持つ。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・歴史文化について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・歴史文化に強い興味・関心があり、未知のことを主体的に探究する強い意欲を持つ。
 - ・発表やフィールドワークなどを、多様な人々と協働して取り組める。

バイオ環境学部

教育目的

環境問題や資源・エネルギー問題の本質的な解決を図るため、バイオサイエンス分野の先端研究の成果や技術を生かし、国際連携や地域との協力のなかで「人とともに多様な生き物が共生できる環境（バイオ環境という）」を実現することができる人材を養成する。

本学部の教育目的に即した人材を育成するために、本学部の教育目的を理解し、意欲と主体性をもって勉学に励むことができ、高等学校の教育課程で修得する基礎的な学力とそれを活用する力、他者とのコミュニケーション能力を備える人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・高等学校で履修する科目についての基礎的な知識・技能を持つ。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・自然や自然の現象について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・学問を主体的に学ぶ強い意欲を持つ。
 - ・実践的な課題に対して、多様な人々と協働して取り組める。
 - ・国際人としての教養を身につけ、日本人学生は英語を、留学生は日本語を中心とした多様な言語力の向上を目指す意欲を持つ。

【バイオサイエンス学科】

教育目的

環境と調和したグリーンバイオ技術の習得を教育目的とする。学生は動物、植物、昆虫、微生物、食品、遺伝子の領域におけるバイオの知識や技術を講義や実験を通じて広く学び、環境と人々の健康に貢献できるバイオ技術者を目指す。

本学科の教育目的に示した人材を育成するために、明確な目的意識と情熱を持ち、高等学校で履修した教科・科目について、基礎的な知識を有し、自分の考えを伝えられる日本語力、さまざまな課題に積極的に挑戦しようとする意欲、活動に積極的に取り組む姿勢、コミュニケーションを効果的に図り、相互理解に努めようとする態度を有する人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・高等学校で履修する国語、英語、数学、理科などについての基礎的な知識を持つ。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・生命を含む自然や自然現象について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・生命科学、食品、環境、健康分野に強い興味・関心があり、主体的に学ぶ強い意欲を持つ。
 - ・知識の修得と活用のために、多様な人々と協働して取り組める。

【バイオ環境デザイン学科】

教育目的

農・森林環境、水環境、都市環境などの共生空間における物質循環や動態とその景観に関する科学・技術に基づく環境デザイン力の養成を教育目的とする。学生は生態学的知識、環境分析技術、環境再生技術などを講義や実験、フィールド実習を通じて学び、人と自然の共生に貢献できる環境専門家やランドスケープデザイナーを目指す。

本学科の教育目的に示した人材を育成するために、明確な目的意識と情熱を持ち、高等学校で履修した教科・科目について、基礎的な知識を有し、自分の考えを伝えられる日本語力、さまざまな課題に積極的に挑戦しようとする意欲、活動に積極的に取り組む姿勢、コミュニケーションを効果的に図り、相互理解に努めようとする態度を有する人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・高等学校で履修する国語、英語、数学、理科などについての基礎的な知識を持つ。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・自然環境やその現象について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・環境の保全や再生に強い興味・関心があり、主体的に学ぶ強い意欲を持つ。
 - ・知識の修得と活用のために、多様な人々と協働して取り組める。

【食農学科】

教育目的

環境に配慮し、地域の特長を生かした農産物の生産や安全な食品の加工技術の習得を教育目的とする。学生は農産物の栽培育種、食品加工、発酵・醸造、食品の栄養価や安全性をバイオの知識と共に講義や実習を通じて学び、地域の活性化に貢献できる食と農の専門家を目指す。

本学科の教育目的に示した人材を育成するために、明確な目的意識と情熱を持ち、高等学校で履修した教科・科目について、基礎的な知識を有し、自分の考えを伝えられる日本語力、さまざまな課題に積極的に挑戦しようとする意欲、活動に積極的に取り組む姿勢、コミュニケーションを効果的に図り、相互理解に努めようとする態度を有する人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・高等学校で履修する国語、英語、数学、理科などについての基礎的な知識を持つ。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・自然や栽培、食べ物について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・作物の生産と食品の開発・製造および発酵醸造に強い興味・関心があり、主体的に学ぶ強い意欲を持つ。
 - ・知識の修得と活用のために、多様な人々と協働して取り組める。

【生物環境科学科】

教育目的

生物環境科学の知識や技術に基づき、人類や地球の直面する課題に対し科学的に対処できる幅広い視野および判断力を備えた「生物環境科学技術者・研究者」を養成する。具体的には、生態学的知識、環境分析技術、環境再生、農産物の栽培・育種技術などを講義・実験・フィールド実習等を通じて幅広く教授することで、人と自然の共生に貢献できる環境専門家や農業技術者、研究者を養成する。

本学科の教育目的に示した人材を育成するために、明確な目的意識と情熱を持ち、高等学校で履修した教科・科目について、基礎的な知識を有し、自分の考えを伝えられる日本語力と英語力、さまざまな課題に積極的に挑戦しようとする意欲、活動に積極的に取り組む姿勢、コミュニケーションを効果的に図り、相互理解に努めようとする態度を有する人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・高等学校で履修する国語、英語、数学、理科などについての基礎的な知識を持つ。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・自然環境やその現象、農作物の栽培と地域共生について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・環境の保全や再生、作物の生産、地域共生などに強い興味・関心があり、主体的に学ぶ強い意欲を持つ。
 - ・知識の修得と活用のために、多様な人々と協働して取り組める。
 - ・国際人としての教養を身につけ、日本人学生は英語を、留学生は日本語を中心とした多様な言語力の向上を目指す意欲を持つ。

【応用生命科学科】

教育目的

応用生命科学の知識や技術に基づき、人類や地球の直面する課題に対し科学的に対処できる幅広い視野および判断力を備えた「グリーンバイオ技術者・研究者」を養成する。具体的には、微生物、昆虫、植物、動物等の分子・遺伝子・細胞レベルから、食品加工、発酵・醸造ならびに食品の機能性および安全性に至る広範な応用生命科学領域において、幅広い知識や技術を講義・演習・実験等を通じて教授することで、環境と人々の健康に貢献できる技術者、研究者を養成する。

本学科の教育目的に示した人材を育成するために、明確な目的意識と情熱を持ち、高等学校で履修した教科・科目について、基礎的な知識を有し、自分の考えを伝えられる日本語力と英語力、さまざまな課題に積極的に挑戦しようとする意欲、活動に積極的に取り組む姿勢、コミュニケーションを効果的に図り、相互理解に努めようとする態度を有する人を求めます。

1. 知識・技能
 - ・高等学校で履修する国語、英語、数学、理科などについての基礎的な知識を持つ。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・生命を含む自然や自然現象について考え判断する能力があり、自分の考えを表現できる。
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・分子、細胞レベルの生命科学、食品の開発・製造、環境、健康分野に強い興味・関心があり、主体的に学ぶ強い意欲を持つ。
 - ・知識の修得と活用のために、多様な人々と協働して取り組める。
 - ・国際人としての教養を身につけ、日本人学生は英語を、留学生は日本語を中心とした多様な言語力の向上を目指す意欲を持つ。

募集学部学科、定員および出願資格

■ 募集学部学科および募集定員

学部	学 科	募集定員	編入学年次
経済経営学部	経済学科	学科ごとに若干名	3年次
	経営学科		
人文学部	心理学科		
	歴史文化学科		
バイオ環境学部※	バイオサイエンス学科		
	バイオ環境デザイン学科		
	食農学科		

※欠員のある場合に限り実施するため、希望の方は事前に入学センターまでお問合せください。

※科目の認定状況により2年次に編・転入学となる場合があります。事前審査の結果通知とともにお知らせします。

※バイオ環境学部への2年次に編・転入学の場合は、生物環境科学科または応用生命科学科のいずれかになります。

■ 出願資格

【編入学】

次の①～③のいずれかに該当し、かつ事前審査を通過した者。

- ① 大学、短期大学、高等専門学校を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者。
- ② 専修学校で専門課程(修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であるものに限る)を修了した者、または2026年3月までに修了見込みの者。ただし、学校教育法第90条および学校教育法施行規則第150条に規定する大学入学資格を有する者。
- ③ 修業年限が2年以上かつ文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科を修了した者、または2026年3月までに修了見込みの者。

【転入学】

次の①に該当し、かつ事前審査を通過した者。

- ① 大学に2年以上在学(休学期間を除く)し60単位以上修得した者、または2026年3月までに修得見込みの者。

※心理学科への編入学・転入学を考えている方へ

公認心理師国家試験の受験資格を得るには、大学で決められた「必要な科目」をすべて履修する必要がありますが、編・転入学した場合3～4年次の2年間ではそのすべての科目を履修しきれない場合があります。

詳細については、下記へ事前にお問い合わせください。

京都先端科学大学 教務センター（人文学部担当）

TEL：075-406-9118

E-mail：kyoumu@kuas.ac.jp

※バイオ環境学部への編入学・転入学を考えている方へ

基本的には3年次に編・転入学となり、「バイオサイエンス学科」「バイオ環境デザイン学科」「食農学科」のいずれかになります。ただし、履修状況によっては2年次に編・転入学となる場合があります。その場合は「生物環境科学科」または「応用生命科学科」になります。事前審査申込時には、3年次編入を前提として、「バイオサイエンス学科」「バイオ環境デザイン学科」「食農学科」のいずれかを志望学科として選択してください。事前審査の結果、2年次編・転入学となった場合でも受験を希望する場合は、「生物環境科学科」または「応用生命科学科」のいずれかも併せて志望学科として選択してください。

各カリキュラムについては、下記URLにある「履修要項」をご確認ください。

<https://www.kuas.ac.jp/student-support/curriculum-guide/>

事前審査

大学・短期大学等での修得科目について、本学のカリキュラムとの互換性を確認し、編入学、転入学として受け入れ可能かどうかを審査します。

■ 事前審査

日程	申込期間	審査結果通知
A 日程	2025 年 8 月 29 日(金)～9 月 12 日(金)《必着》	2025 年 9 月 26 日(金)
B 日程	2025 年 11 月 19 日(水)～12 月 3 日(水)《必着》	2025 年 12 月 24 日(水)

■ 事前審査申請書類

【編入学】

- ① 事前審査申請書（本学所定様式）
- ② 成績証明書（要単位数） **単位を修得した大学、短期大学が発行したもの**
- ③ その他証明書
卒業（修了）見込みの者：卒業（修了）見込証明書
卒業（修了）した者：卒業（修了）証明書
- ④ 出願時に履修中の科目名および単位数が明記されたもの（履修登録表等）
- ⑤ 修得した科目および修得予定の科目のシラバス
単位修得時のもので、かつ単位修得した大学等のシラバスであることが確認できるもの
- ⑥ TOEIC® L&R のスコアを確認できるものの写し ※IP テストは不可。

【転入学】

- ① 事前審査申請書（本学所定様式）
- ② 成績証明書（要単位数） **単位を修得した大学が発行したもの**
- ③ その他証明書
大学在学中の者：在学期間証明書（本学所定様式）
大学を退学した者：在学期間証明書（本学所定様式）
- ④ 出願時に履修中の科目名および単位数が明記されたもの（履修登録表等）
- ⑤ 修得した科目および修得予定の科目のシラバス
単位修得時のもので、かつ単位修得した大学等のシラバスであることが確認できるもの
- ⑥ TOEIC® L&R のスコアを確認できるものの写し ※IP テストは不可。

■ 審査結果通知

審査結果は郵送で本人へ通知します。その他の方法では行いません。

入試日程、選考方法等

■ 入試日程

	出 願 期 間	試験日	合格発表日	1 次手続締切日	2 次手続締切日	手続書類締切日
A 日 程	10 月 14 日（火）～10 月 27 日（月） 《最終日消印有効》 本学持参の場合の受付 10 月 29 日（水）まで	11 月 9 日(日)	11 月 25 日(火)	12 月 15 日(月)	2026 年 1 月 9 日(金)	2026 年 1 月 9 日(金)
B 日 程	2026 年 1 月 5 日（月）～1 月 19 日（月） 《最終日消印有効》 本学持参の場合の受付 1 月 21 日（水）まで	2026 年 1 月 31 日(土)	2026 年 2 月 16 日(月)	2026 年 2 月 27 日(金)	2026 年 3 月 6 日(金)	2026 年 3 月 6 日(金)

※本学持参受付時間 京都太秦キャンパス 入学センター 8:30～17:00（土日祝日除く）

■ 選考方法

英語、小論文、面接、書類審査により総合的に判断します。

英語の評価に関しては、事前審査時に提出された TOEIC® L&R のスコアを学力試験の代わりとします。なお、TOEIC® L&R IP テストは対象外となります。

小論文は、志願する学科の基礎的な知識や考え方を問う内容とします。

時 間	試 験					
10:00～ 11:30	小論文	経済経営学部	経済学科		次の①②から 1 つ選びなさい。（試験時間中に選択） ①経済学（ミクロ・マクロの理論）の初歩的な問題 ②経済の時事問題に関すること	
			経営学科		次の①②から 1 つ選びなさい。①の場合、受験領域を合わせて選択しなさい。（出願時に選択） ①経営分野の初歩的な問題 領域：「会計」、「マーケティング」、「組織・管理」、「経営情報」 ②経営の時事問題に関すること	
		人文学部	心理学科		2 年次編入の場合：心理学の初歩的な問題 3 年次編入の場合：希望するプログラムの科目を選びなさい。（出願時に選択） ・対人援助プログラム：臨床心理学 ・応用心理プログラム：心理学 ・産業プログラム：社会学	
			歴史文化学科		2 年次編入の場合：歴史・文化に関すること 3 年次編入の場合：次の①～③から 1 つを選びなさい。（出願時に選択） ①歴史学 ②民俗学 ③日本語日本文化	
		バイオ環境学部	3 年次に 編・転入学の場合	バイオサイエンス学科		バイオサイエンス分野に関すること
				バイオ環境デザイン学科		環境・生態分野に関すること
				食農学科		農業・食品分野に関すること
			2 年次に 編・転入学の場合	生物環境科学科		環境・生態・農業分野に関すること
				応用生命科学科		応用生命科学分野に関すること
12:30～	面接					

■ 試験地

本学（京都太秦キャンパス）

■ 出願書類

- ① 入学願書（志願票・写真票）
- ② 志望理由書（本学所定の用紙に 800 字以内で記述したもの）

※出願書類の確認後、受験票を送付します。

外国人留学生については次の書類も併せて提出すること。

- ③ 外国人留学生個人調書（本学所定の用紙）
※本学ホームページ（<https://www.kuas.ac.jp/admissions/downloads/>）からプリントアウトしてください。
- ④ パスポートの顔写真があるページのコピー
- ⑤ 日本国内在住者：在留カード両面のコピー（最新のもの）
- ⑥ 日本国内在住者：住民票の写しまたは住民票記載事項証明書
注）3 ヶ月以内に取得したもので、在留資格・在留期間等の満了日の記載のあるもの

■ 入学検定料

35,000 円（銀行振込） 志願票に付属している振込用紙を利用して振り込んでください。

出願方法

① 入学検定料の支払い

志願票に付属している振込用紙を利用して入学検定料 35,000 円を出願期間内に本学指定の銀行口座に「電信扱い」で振り込んでください。いったん納入された入学検定料は理由の如何を問わず返還しません。

② 出願書類の送付

入学試験要項にて出願書類を確認し、書類不備のないようにしてください。郵送の場合は、必ず**簡易書留速達**で郵送してください。本学持参の場合、必ず**京都太秦キャンパス入学センター**へ持参してください。

出願書類に虚偽の記載があった場合は受験を認めません。また、受験後に判明した場合には、受験を無効とし、可否の判定及び入学を取り消します。

出願手続きに関する注意事項

■ 身体等に障がいのある方への受験上の配慮について

- ・身体等に障がいのある方で、受験の際に配慮を希望される場合は、概ね各入試の出願開始日の 1 カ月前までに必ず入学センターにご相談ください。
- ・出願後に不慮の事故等により負傷された方で、受験の際に配慮を希望される場合は、必ず入学センターにご相談ください。
- ・複数の入試制度に出願される場合は、その都度申し出が必要となります。
- ・配慮内容や申し出時期によってはご希望に沿えない場合もありますのであらかじめご了承ください。

■ 入学試験の振り替え・入学検定料の返還について

試験日に疾病（インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス・風邪等を含む）・負傷により試験を受験できない者は、入学センターに連絡してください。他の入試日程への振り替え、もしくは当該入学試験にかかる入学検定料を返還します。

入試日程の振り替え・入学検定料返還について

- (1) 欠席する入学試験日の 10:00 までに入学センターまで電話をしてください。(075-406-9270)
※連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取扱います。
- (2) 診断書（病名、加療期間（欠席した入学試験日を含む）が明記されたもの）を提出してください。

志願票記入上の注意事項

- ① 志願票は所定のものを使用してください。
- ② 黒のボールペンを使用し、11 ページの編入学・転入学試験 志願票記入例を参考に記入してください。
- ③ 間違った場合は2本線を引き、訂正印を押し、余白に記入してください。
- ④ ※ 印欄には記入しないでください。
- ⑤ 出願に係る個人情報の取り扱いについては、16 ページを参照してください。

■ 記入要領

- ① **入試区分**
 - ・ 編入学または転入学にチェック☑してください。
- ② **志望学部、学科**
 - ・ 志望学部・学科にチェック☑してください。
- ③ **小論文**
 - ・ 経営学科、心理学科、歴史文化学科希望者は解答する問題にチェック☑してください。
- ④ **氏名、性別、生年月日**
 - ・ 氏名、生年月日を記入し、性別にチェック☑をしてください。
 - ・ 外国籍を有する者は住民票に記載の本名・通称名のいずれかの氏名を記入してください。
 - ・ フリガナはカタカナで記入してください。
- ⑤ **出身校**
 - ・ 学校名は省略しないでください。
 - ・ 在籍状況は該当のものに○をしてください。
- ⑥ **書類送付先**
 - ・ 受験票等を送付しますので、マンション等の棟番号、戸番など正確に省略せずに記入してください。また、入学後、入学までの間の諸連絡には、この住所等を使用します。
 - ・ なお変更が生じた場合は、速やかに入学センターまで連絡してください。
- ⑦ **写真**
 - ・ 志願票、写真票に写真を貼付してください。写真の裏面に志望学部、氏名を記入してください。
 - ・ 写真はカラー、白黒どちらでもかまいません。(タテ 4cm×ヨコ 3cm)

編入学・転入学試験 志願票記入例

志願者 氏名:先端 緑 出身学校:先端科学短期大学・卒業見込み 志望学部・学科:経済経営学部 経営学科を受験する場合。

A (大学提出)		2026年度 京都先端科学大学 編入学・転入学試験 志願票		受験を希望する入試区分、入試日程、学科にチェックしてください。	
□にはチェック「✓」を記入してください		入試区分	☒ 編入学 ☐ 転入学	入試日程	☐ A日程 ☒ B日程
解答する小論文問題を選択してください。 ※経済学科、バイオ環境学部希望者は選択不要です。		学部・学科	☐ 経済経営学部／経済学科 ☒ 経済経営学部／経営学科 ☐ 人文学部／心理学科 ☐ 人文学部／歴史文化学科	☐ バイオ環境学部／バイオサイエンス学科 ☐ バイオ環境学部／バイオ環境デザイン学科 ☐ バイオ環境学部／食農学科	
氏名・生年月日を記入し性別にチェックしてください。 外国籍で通称名をもち、通称名の使用を希望する場合は通称名を記入してください。		経営学科	☒ 経営分野の初歩的な問題（回答する領域に○をしてください） 領域： ☒ 会計 ☐ マーケティング ☐ 組織・管理 ☐ 経営情報		
小論文		心理学科	☐ 対人援助プログラム：臨床心理学 ☐ 応用心理プログラム：心理学 ☐ 社会・産業プログラム：社会学		
フリガナ		歴史文化学科	☐ 歴史学 ☐ 民俗学 ☐ 日本語日本文化		
氏名		先端 緑			
性別		☒ 男 ☐ 女		生年月日	西暦 2005年 5月 15日生
出身校		都道府県	京都 都道府県	学校名	先端科学短期大学
在籍状況		西暦 2026年 3月 退学・卒業(修了) ☒ 卒業(修了)見込 2年次以上修了・2年次以上修了見込			
書類送付および連絡先		〒(615-8577) 住所 京都府京都市右京区山/内五反田町18 先端マンション300号 電話 (075) 406-0000 携帯電話(090) 0000-0000			
この住所に受験票、入学手続きに関するご案内等を送付しますので正確に記入してください。		写真 4cm×3cm 正面・上半身・脱帽・無背景 最近3ヶ月以内に撮影 写真裏面に受験学部・氏名を記入し全面のりづけ			
志願者データ		在籍状況は該当のものに○をしてください。			
2026年度 京都先端科学大学 編入学・転入学試験 写真票		取扱い銀行収納印 1			
受験番号		※大学記入欄			
フリガナ		センタン ミドリ			
志願者氏名		先端 緑			
写真		[志願者の方へ] 入学検定料振込みの際は、本用紙を切り離さず、必要事項を記入の上、金融機関窓口へ提出してください。 収納印を確認の上、A票を他の出願書類とともに、大学へ提出してください。 B票は各自で保管してください。 [取り扱い金融機関の方へ] 赤枠内を打電してください。 受付日当日に必ずテレ発信してください。 取り扱い銀行収納印をA・B・C票に押印の上、依頼者にお渡しください。			
2026年度 京都先端科学大学 編入学・転入学試験 入学検定料領収書		依頼日を記入してください。			
金額 ¥35,000 フリガナ センタン ミドリ 志願者氏名 先端 緑		入学検定料電信振込依頼書			
上記のとおり領収しました。		2026年度 京都先端科学大学 編入学・転入学試験			
志願者氏名・フリガナを記入してください。		依頼日 2026年 1月 6日 振込指定 電信振込 手数料 3 5 0 0 0			
取扱い銀行収納印 2		振込先 銀行 京都銀行 本店営業部 口座 科目 普通 No. 5280362 キョウトセンタンカガクダイガク フリガナ センタン ミドリ 氏名 先端 緑 住所 京都府京都市右京区山/内五反田町18 先端マンション300号 電話 (075) 406-0000			
銀行収納印のないものは無効		現金 内訳 当店券 他店券 志願者氏名・フリガナ・住所・電話番号を必ず記入してください。			
※振込み取り扱い期間(A日程) 2025年10月14日(火)～10月29日(水) ※振込み取り扱い期間(B日程) 2026年1月 5日(月)～1月21日(水) ※記載銀行の本支店窓口で振込みされると、振込手数料は不要です。		取扱い銀行収納印 3			
		銀行収納印のないものは無効			

受験に関する注意事項

■ 入室・退室

- ① 天候等による交通機関の乱れに注意し、余裕をもって出発してください。
- ② 指定された集合時間までに試験場に集合・入室してください。なお、受験票で集合時間等を通知します。集合時間から試験実施の諸説明、問題の配布等を行います。
- ③ 試験開始後 20 分以上遅刻した者は受験を認めません。
- ④ 特別の場合を除き試験中の退室は認めません。

■ 試験中に使用を認めるもの

- ・筆記用具
HB の黒鉛筆。シャープペンシル。プラスチックの消しゴム。鉛筆削り。
- ・時計(時計機能だけのものに限り。秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものは使用不可)
- ・眼鏡、目薬、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)
- ・座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋(多汗症用含む)の使用を希望する場合は、あらかじめ試験監督の許可を得てください。

■ 試験中に使用を認めないもの

- ・定規(定規の機能を備えた鉛筆等も含む)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・電子辞書、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、IC レコーダー、ワイヤレスイヤホン等の電子機器類

■ 不正行為について

受験の際はすべて、試験監督の指示に従ってください。なお、下記に該当する場合は、不正行為となります。不正行為が認められた場合は、その場で試験の中止と退場を命じ、それ以降の受験は出来ません。また、当日受験した全科目を無効とし、失格とします。

- ① カンニング(カンニングペーパー、参考書、他の受験生の答案を見る行為、他人から答えを教わる行為など)をすること。
- ② 使用を認められていないものを使用すること。
- ③ 試験開始や終了の指示など、監督者の指示に従わないこと。
- ④ 答えを教えるなど、他の受験生に利するような行為をすること。
- ⑤ 試験室において、他の受験生の迷惑となる行為をすること。
- ⑥ 受験者以外の者が、受験者本人になりすまして試験を受けること。
- ⑦ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

■ その他

- ① 試験当日に受験票を必ず持参してください。
万一忘れた場合は試験が開始されるまでに入試本部に申し出てください。
- ② 受験を途中で棄権した者、所定の教科・科目数を受験しなかった者、不正行為者は全科目無効とし、失格とします。
- ③ 付き添いの方は所定の場所で待機してください。
- ④ 当日、試験場周辺および最寄り駅等において、下宿紹介等のチラシを配布していても、本学とは一切関係ありません。
- ⑤ 当日は係員、試験監督者の指示に従ってください。

合格発表・Web（PC・スマートフォン）による合否案内、 外国人留学生の入学手続きについて

■ 合格発表について

- ① 合格者には入学手続きに関するご案内等を郵送します。なお、**合格・不合格通知書は発送しません**ので、Web 合否案内でご確認ください。
- ② 入試によっては本学手続書類等の到着が合格発表日の翌日以降になる場合があります。ご了承ください。
- ③ 学内掲示による発表は行いません。
- ④ 電話等による合否の問い合わせには応じられません。
- ⑤ 欠席者・失格者への合否発表はありません。

■ Web（PC・スマートフォン）による合否案内について

当サービスは、インターネット接続可能なパソコン・スマートフォンにてご利用になれます。利用方法は次の通りです。
よく読んでから正確にアクセスしてください。

- ① このサービスは、当該入試の合格発表日の午前 10 時から行います。
- ② サービス開始時刻直後は混み合うおそれがあります。アクセスしにくいときは、少し時間をずらしてアクセスしなおしてください。
- ③ 本学ホームページにアクセスし、「入試情報」から「合否案内」へ進んでください。

URL : <https://www.kuas.ac.jp>

- ④ アクセス状況の問い合わせやスマートフォンの機種ごとのサービス利用可否等についての問い合わせには一切応じられません。
- ⑤ 本システムの「誤操作・入力ミス」「見間違い」等を理由とした入学手続締切日を過ぎての入学手続は認めません。
- ⑥ スマートフォンの機種によってはご利用いただけない場合がありますので予めご了承ください。
- ⑦ 本システムでは音声での案内はしていません。

■ 外国人留学生の入学手続きについて

外国人留学生は合格後、入学手続きに必要な書類として、以下の書類（2025 年 11 月以降に発行されたもの）を入学手続書類提出締切日までに必ず提出してください。

書類が提出されない場合は入学を取り消すことがあります。

余裕をもって事前準備をしてください。

【必要書類】

- ・経費支弁者と入学者の関係を証明する資料
- ・経費支弁者の銀行の預金残高証明書（原本）
- ・経費支弁者の職業を証明する資料
- ・経費支弁者の収入を証明する資料（原本）

学費等納付金

■ 学費等納付金（2026 年度予定）

※学費等納付金は予定であり変更になる可能性があります。入学手続要項でご確認ください。

※外部英語試験受験料は未定につき、2025 年度入学者の金額を参考に記載しています。

※入学手続時の納付は 2 段階です。＜1 次手続：入学金＞ ＜2 次手続：授業料等＞

経済経営学部

（円）

費目			納付金		年 額	年額内訳			備 考
						入学手続時納付(春学期分)		10 月納付 (秋学期分)	
入 学 金					260.000	260.000	—	—	入学時のみ
学 費	授 業 料				824.000	—	412.000	412.000	
	施 設 設 備 費				320.000	—	160.000	160.000	
	小 計				—	—	572.000	572.000	
委託徴収金	後 援 会	入 会 金	20.000	—	20.000	—	—	入学時のみ	
		会 費	7.500	—	7.500	—	—		
		事 業 積 立	5.000	—	5.000	—	—		
	学 友 会	入 会 金	13.000	—	13.000	—	—	入学時のみ	
		会 費	4.000	—	4.000	—	—		
	学 会	会 費	2.000	—	2.000	—	—		
		小 計		51.500	—	51.500	—	—	
	外部英語試験受験料			5.160	—	2.580	2.580		
合 計			1.460.660	260.000	626.080	574.580			

人文学部

（円）

納付金			年 額	年額内訳			備 考
				入学手続時納付(春学期分)		10 月納付 (秋学期分)	
				1 次手続	2 次手続		
入 学 金			260.000	260.000	—	—	入学時のみ
学 費	授 業 料		824.000	—	412.000	412.000	
	施 設 設 備 費		320.000	—	160.000	160.000	
	小 計		1,144.000	—	572.000	572.000	
委託徴収金	後 援 会	入 会 金	20.000	—	20.000	—	入学時のみ
		会 費	7.500	—	7.500	—	
		事 業 積 立	5.000	—	5.000	—	
	学 友 会	入 会 金	13.000	—	13.000	—	入学時のみ
		会 費	4.000	—	4.000	—	
	学 会	会 費	3.000	—	3.000	—	
		小 計		52.500	—	52.500	—
	外部英語試験受験料		5.160	—	2.580	2.580	
合 計		1,461.660	260.000	627.080	574.580		

バイオ環境学部

（円）

納付金 費目		年 額	年額内訳			備 考	
			入学手続時納付(春学期分)		10 月納付 (秋学期分)		
			1 次手続	2 次手続			
入 学 金		260.000	260.000	—	—	入学時のみ	
学 費	授 業 料	1.040.000	—	520.000	520.000		
	施 設 設 備 費	330.000	—	165.000	165.000		
	実 験 実 習 費	160.000	—	80.000	80.000		
	小 計	1.530.000	—	765.000	765.000		
委託徴収金	後 援 会	入 会 金	20.000	—	20.000	—	入学時のみ
		会 費	7.500	—	7.500	—	
		事 業 積 立	5.000	—	5.000	—	
	学 友 会	入 会 金	13.000	—	13.000	—	入学時のみ
		会 費	4.000	—	4.000	—	
	小 計	49.500	—	49.500	—		
外部英語試験受験料		5.160	—	2.580	2.580		
合 計		1.844.660	260.000	817.080	767.580		

※入学金は入学時のみ徴収します。

※学費（授業料・施設設備費、バイオ環境学部は実験実習費を含む）は、年額の 2 分の 1 を春学期分学費と秋学期分学費とし、半期ごとの分納になります。

※入学手続時納付金は、入学金と春学期学費および委託徴収金他です。

※経済経営学部、人文学部の 4 年次の学費（授業料・施設設備費）は、授業料年額 ¥824,000、施設設備費年額 ¥320,000 になります。

※バイオ環境学部の 3 年次に編・転入学する場合は、4 年次の学費（授業料・施設設備費・実験実習費）は、¥1,550,000 になります。

バイオ環境学部の 2 年次に編・転入学する場合は、3 年次以降の学費（授業料・施設設備費・実験実習費）は、¥1,530,000 になります。

※4 年次以降も委託徴収金（諸会費）が必要です。また 4 年次には同窓会終身会費を徴収します。なお、諸会費は改定されることがあります。

※外部英語試験は、全員受験していただきます。なお、受験できない場合でも返金いたしません。

※外部英語試験受験料は 3 年次まで徴収いたします。ただし、受験料は変更になる場合があります。

■ 本学では独自の奨学金制度を中心に各種奨学金制度を整備し、学が意欲のある学生をサポートしています。詳しくは大学案内をご覧ください。

■ 寄付金は任意で常時募集しておりますが、入学前のご寄付はお受けしておりません。

入学手続締切日等

■ 入学手続締切日

	1 次手続	2 次手続	入学手続書類
A 日程	2025 年 12 月 15 日 (月)	2026 年 1 月 9 日 (金)	2026 年 1 月 9 日 (金)
B 日程	2026 年 2 月 27 日 (金)	2026 年 3 月 6 日 (金)	2026 年 3 月 6 日 (金)

入学手続締切日までに入学手続を完了しない場合は、入学が許可されません。

※注

1 次手続：入学金

2 次手続：春学期学費と委託徴収金

手続書類：入学手続きに必要な書類一式

入学金や学費等の納付と指定書類の提出が入学手続きです。入学金や学費等の納付に関して地方公共団体助成や教育ローン申請のために手続期限に間に合わない場合は、必ず手続期限までに入学センターへ申し出てください。内容により期日を延長することが可能です。

■ 入学辞退について

2 次手続完了後に、入学を辞退する場合には、**2026 年 3 月 31 日 (火) 17:00 (必着)** までに京都太秦キャンパス入学センターに所定の様式にて申し出てください。入学金以外の納付金を返還します。手続方法等詳細は、「入学手続要項」で確認してください。

出願に係る個人情報の取扱い

受験生からご提出いただいた出願情報により、本学が保有した個人情報は、以下のように利用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 出願書類に不備があった場合に当該受験生に連絡を取り、指導します。場合によっては、当該受験生の所属する学校等に連絡を取ります。
2. 試験や審査に係る必要書類等を当該受験生に送付します。
3. 試験や審査に係る合格通知等を当該受験生に通知します。
4. 合格者に入学手続書類等を送付します。
5. 個人を特定しない集計処理をします。
6. 入学式の案内、学生総合保険の案内等を送付します。
7. 入学後の各種案内を送付・連絡します。
8. 入学後の名簿作成・修学指導等に利用します。
9. 個人情報および入試結果のデータ処理を業者に委託する場合があります。
なお受託業者は、上記の情報およびデータを京都先端科学大学が明示する用途のみに使用し、受託業務を超えて利用することはありません。本学は、委託先における個人情報の保護が適切になされ、安全管理が十分に行われていることを業者選定の基準にしています。

上記以外では、出願に係る個人情報は、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供しません。ただし、①法令に基づく場合、②個人の生命・身体又は財産の保護のために必要がある場合であって本人の同意を得ることが困難であるときなど、個人情報保護法並びに学校法人永守学園個人情報の保護に関する規程に定める特段の事情がある場合は、この限りではありません。

出願に係る個人情報の取扱いについてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。
京都先端科学大学 入学センター TEL : 075-406-9270



京 都 太 秦 キ ャ ン パ ス 〒615-8577 京都市右京区山ノ内五反田町 18
京 都 亀 岡 キ ャ ン パ ス 〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷 1-1
入学センターへのお問い合わせ URL. <https://www.kuas.ac.jp/>
TEL. 075-406-9270
E-mail nyushi@kuas.ac.jp